



2024年7月23日

各位

会社名 GFA株式会社
代表者名 代表取締役社長 片田 朋希
(コード：8783、スタンダード市場)
問合せ先 経営企画部 部長 谷井 篤史
<https://www.gfa.co.jp/form/corp/>

GCM S1 証券株式会社との業務提携に関するお知らせ

～日本及びアジア地域において、多様化する投資家に最良の金融サービスを提供するために～

当社は、GCM ホールディングス株式会社の100%子会社であるGCM S1 証券株式会社（本社：東京都港区、代表取締役：高須 茂巳、以下「GCM証券」といいます。）と金融サービス事業において業務提携を行うことに関して、両社協議の上、2024年7月23日付で合意しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業務提携の目的

当社は、不動産・金融事業を本業とし、最先端のメタバース空間の展開を含めた様々な事業開発・金融支援を行っております。複数の事業会社を子会社・関連会社として有しており、それら事業を連携させながら、メタバース・フィンテックといった最先端領域の市場創造にも尽力をしつつ、本業の不動産・金融事業の収益を最大化すべく事業推進を行っております。

金融サービス事業におけるファイナンシャル・アドバイザー事業では、資金調達を計画している上場企業などに対して、そのニーズを収集し、助言及び資金調達支援を行っております。資金調達先のアレンジャーとして国内外のファンドや機関投資家、事業法人などの投資家のご紹介、自己資金等での資金提供も提案しております。

ファイナンシャル・アドバイザー業務においては、当社が連携するエムケイドットエックスグループからのEV用バッテリーを対象としたプロジェクトファイナンスの組成依頼や、当社取引先が運営するデータセンターに必要なGPUサーバーの仕入れ資金ニーズ等が具現化しており、当社の有するパートナーと連携しながら、エクイティを含めたファンドレイズの活用法を模索しております。

今般、当社は当社子会社の社長より紹介を受け、GCM証券と協議を重ねた結果、GCM証券の持つ国内における総合金融ライセンスを活用した、貸付型クラウドファンディングなどを実行することで、(1)GPUサーバー（AIデータセンター）特化型ファンドの組成・運営、(2)EVバッテリー専用ファンドの組成・運営等の取り組みに関して話し合いを実施しております。

これまでのGCM証券におけるファンド組成・運用のトラックレコードと当社のファイナンシャル・アドバイザー業務における国内外投資家のネットワークも駆使すれば、本スキームの実現可能性も高いと考えております。

同スキームにより、当社のファイナンシャル・アドバイザー費用（ファンド組成費用・信託報酬等）もレベニューシェアにより確保できることから、当社の安定した収益構築に寄与することが期待できます。

GCM証券との協業が実現することにより、当社内外の資金ニーズ等に幅広く応えることが可能となり、中長期的には当社の業績及び企業価値の向上に資するものとも考えており、今般の業務提携を行うことに関して、両社で合意に至っております。

2. 業務提携の内容等

(1) 業務提携の内容

GCM証券は、GCMグループ会社であるGCMアセットマネジメント株式会社を営業者とし、貸付型クラウドファンディングプラットフォーム「Wealth Concierge」にてファンドを募集・運営するなど、国内での総合金融ライセンスを活用して、商品販売を軸とした様々な金融サービスを提供できる組織体制を構築し、資産形成のサポートを行っています。同社の有する各種金融ライセンスを活用し、特定業種の資金使途に特化したファンドを個別組成していくことで、当社はファンドの調達効率を上げると共に、資金保全の効く安定した投融資先を確保することが期待できます。

具体的には、現在、当社では当社及び各子会社における海外において事業パートナーの模索を図っており、特に中国及び香港における事業展開を強化し、グループ事業の再編も行いながら、主にEVのバッテリーを担保にした資金調達支援を企図しております。

また、当社の取引先がAIデータセンターを展開するにあたり、GPUサーバーの仕入れが必須となることから、それらデータセンターの用途に特化した資金調達支援を予定しております。

これらプロジェクトの資金使途には原則として政府の保証する補助金・助成金が用意されており、特定期間に確保できる期待収益が具体的且つ確証の高いものとして、ファイナンスアレンジャーに評価を受けております。

こうした支援の一環として、GCM証券と連携を図りながら、業種に特化したファンドを共同組成していくことを予定しております。

本件以外にも、当社は不動産事業を本業として、資金調達先のアレンジャーとして国内外のファンドや機関投資家、事業法人などのコネクションやネットワークを持っており、国内外における上質な金融商品、特にファンド商品を要望する投資家も増えてきております。

当社としてはGCM証券と組み、当社がもつ金融ライセンスと実績・ノウハウ、組織体制を活かしながら、不動産をはじめとする様々なファンド商品の組成・販売を行っていく予定です。

(2) 更なるコラボレーションの可能性

当社は、GCM証券に対して、ファンドを共同組成・運営するだけでなく、より経営レイヤーに近い視点から、戦略的なコラボレーションを協議しており、詳細が決まり次第、速やかに開示いたします。

3. 業務提携の相手先概要

(1) 名 称	GCM S1 証券株式会社	
(2) 所 在 地	東京都港区赤坂一丁目 12 番 32 号アーク森ビル 13F	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 高須 茂巳	
(4) 事 業 内 容	貸付型クラウドファンディング 有価証券型ファンド持分の販売 特定目的会社の優先出資証券の募集又は売出しの取扱い等	
(5) 資 本 金	1 億円	
(6) 設 立 年 月 日	2001 年 12 月 28 日	
(7) 大株主及び持株比率	GCM ホールディングス株式会社 100%	
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資 本 関 係	該当事項はありません。
	人 的 関 係	該当事項はありません。
	取 引 関 係	該当事項はありません。
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。
(9) URL	https://gcm-hd.com/business/gcms1-company	
(10) 当該会社の最近3年間の連結経営成績及び連結財政状態	相手先の意向により、非開示とさせていただきます。	

4. 今後について

現在、GCM証券と本件の開始時期を含む詳細条件などを最終協議していることから、両社で実施していく具体的な協業、更なる戦略的コラボレーション等については、詳細が固まり次第、速やかにお知らせいたします。

また、本件が現時点において当社連結業績に与える影響につきましては現在精査中であります。

以 上